

改善提案は、作業安全や設備改良、業務改善等、様々な分野に及びますが、輸送の安全に関する提案も数多くあり、それらを基にして、下記のような技術開発を行いました。

橋梁用吸音材の開発による列車走行時の騒音低減

騒音対策として、無道床橋梁に敷設するポリエステル特殊吸音材を開発しました。無道床橋梁のまくらぎ間にポリエステル特殊吸音材を挿入して固定することにより、騒音低減効果を狙ったものです。敷設後の経過観察を続けていますが良好な結果を示しており、今後も、より良い沿線環境を目指し取り組んでまいります。



フラット検出装置の改良

車両の車輪の踏面は、雨天時における非常ブレーキ等によりに傷（フラットや盛り上がり等）が発生する場合があります。傷が発生すると、走行時に異音を発するだけでなく乗り心地を悪化させるため、本線には傷が発生した車輪を自動的に検出するフラット検出装置を設置しています。

この装置のソフトを改良し、傷の検出性能やデータの取り扱いを大幅に向上して、傷の発生から除去までの時間短縮を図ったシステムを開発しました。

